

農産物の放射能濃度測定結果【つくば分析センター】(10月5日)

測定日	品目		市町村	γ線スペクトロメトリー					規制値		分析機関	
				核種 単位(Bq/kg)					I-131	Cs合計		
				I-131	Cs-134	Cs-136	Cs-137	Cs合計				
10/3	ミニキャベツ	露地	つくば市	水堀	非検出	非検出	非検出	非検出	-	2000	500	つくば分析
10/4	栗	露地	つくば市	羽成	非検出	32	非検出	32	64	2000	500	つくば分析
10/4	ナガイモ	露地	つくば市	面野井	非検出	非検出	非検出	非検出	-	2000	500	つくば分析
10/4	むかご	露地	つくば市	面野井	非検出	非検出	非検出	非検出	-	2000	500	つくば分析
10/4	新生姜(近江生姜)	露地	つくば市	羽成	非検出	非検出	非検出	非検出	-	2000	500	つくば分析
10/4	ハウレンソウ	露地	つくば市	柳橋	非検出	非検出	非検出	非検出	-	2000	500	つくば分析

※測定方法 つくば分析センター「NaI(Tl)シンチレーション spectrometry 機器分析法」 検出下限20Bq/kg

上記の品目の測定を行いました
 栗に関してはつくば市産から64Bq/kgのセシウムが検出されました。暫定規制値の13%以内です。
 ちなみに、この稲敷産の栗を1kg食べた場合の影響を計算しますと、
 32×0.019 (Cs134の換算係数) + 32×0.013 (Cs137の換算係数) = 1.024μ SVになります。
 原発事故とは関係ない普通の時、食品による内部被ばくを 410μ SV/年受けています。
 年間の被ばく量より**0.25%**増えることになります。

みずほの村市場
<http://mizuhonomuraichiba.com>